

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2026 年 8 月 11 日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

【東進進学情報 vol.527】大学での学びの内容を知る④

「心」とは何か？ 心理学系の学びを知る

人間の心や行動の仕組みを科学的に読み解く。早稲田大・関西学院大の実例紹介

東進ハイスクール・東進衛星予備校などを運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市、代表取締役会長 CEO 永瀬昭幸、代表取締役社長 COO 渋川哲矢)は、独自の入試分析や最新の大学・入試情報をまとめた「東進進学情報」を月2回発行しています。東進生はもちろん、高校の先生など進路指導に携わる皆様にタイムリーにお届けいたします。

2026 年 8 月 7 日号・vol.527 の特集は「大学での学びの内容を知る④(心理学系)」。大学の先生方のインタビューを交えながら大学での学びについて紹介しています。

【今号のピックアップ】

心理学系の学びの実例を
早稲田大・関西学院大の教授に聞く

「大学での学びの内容を知る」をテーマに大学の先生方のインタビューを交えながら大学での学びについて紹介する企画の第4弾。今回は、「心理学系の学び」を取り上げる。

心理学は人間の心や行動の仕組みを科学的に読み解く学問である。「心」とは何かといった根源的な問いから、スポーツや医療現場など人間生活の特定の場面での問題解決まで、幅広い分野が対象となっている。

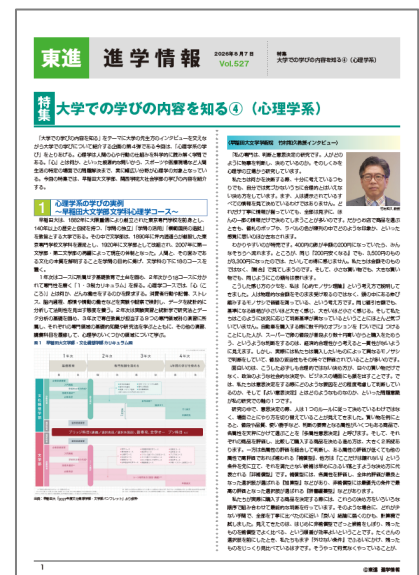
早稲田大 文学部 文学科心理学コースの学びについては、文学学術院 竹村和久教授に、関西学院大 社会学部 社会学科社会心理学専攻の学びについては、清水裕士教授にインタビューを実施。研究内容や研究室での学生の学び、高校生へのメッセージなどを詳しく紹介している。

【今号のサマリー】

①心理学系の学びの実例～早稲田大文学部文学科心理学コース～

〈特長〉

早稲田大は 1882 年創立の東京専門学校を前身とし 140 年以上の歴史を持つ。文学部は1年次を基礎教育、2年次から 18 コースに分かれる「1・3制カリキュラム」を採用。心理学コースでは「心」の働きを実験・観察で検討し、統計的分析から法則性を見出す態度を養う。



〈竹村和久教授からの高校生へのメッセージ〉

受験科目に関わらず高校の勉強、とくに数学をしっかりやってほしい。論理的・数理的に考える汎用的な基礎学力はどの分野に進んでも役立つ。「何になりたいか」という目標と同じくらい「何をしたいか」という視点で将来を考えてほしい。

②心理学系の学びの実例～関西学院大社会学部社会学科社会心理学専攻～

〈特長〉

関西学院大は 1889 年に創立し、130 年を超える歴史と伝統を持つ大学で、社会学部は 1960 年開設で日本最大級の規模を誇る。2026 年4月開始の新カリキュラムでは「社会学」「メディア学」「社会心理学」「文化学」の4専攻を設置。1・2年次に幅広く学んだ後、3年次のゼミ選択で専攻を決定する。

〈清水裕士教授からの高校生へのメッセージ〉

偏差値や制約の中でも自分の関心を大切にしてほしい。社会学部は受験枠が1つで、入学後に専攻を決められる。「ソフトな社会」への関心があれば、文系・理系を問わず数理的な力も活かせる分野である。

【東進進学情報をご覧くださいには】

・東進生の方…通っている校舎のホームルームや説明会、チームミーティング、掲示などで紹介しています。

詳しく知りたい情報があれば、校舎の先生に聞いてください。

・高校の先生方…貴校の東進担当者にお問い合わせください。最新号および必要な情報が掲載された号をお届けいたします。東進担当者が不明な場合は、東進高校事業本部(0120-312-104)までお電話ください。

【株式会社ナガセについて】

1976 年創立。日本最大の民間教育ネットワークを展開するナガセは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。

有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、シェア NO.1 の『予習シリーズ』と最新の AI 学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進中学 NET」、私大総合・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)合格日本一の「早稲田塾」、メガバンク、大手メーカー等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」、優れた AI 人財の育成を目指す「東進デジタルユニバーシティ」、いつでもどこでもすべての小学生・中学生が最新にして最高の教育を受けられる「東進オンライン学校」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。

また、東京五輪で競泳個人メドレー2冠の大橋悠依をはじめ、のべ 53 名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、これからも金メダル獲得と日本競泳界のさらなるレベルアップを目指します。

学力だけではなく心知体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当:市村(いちむら)、海老根(えびね)

TEL:0422-44-9001 Mail:pub@toshin.com